



日本共産党
市川市議会議員
浦安市川市民病院
議会議員

谷藤利子の市政報告

発行責任者: 谷藤利子 2006年12月20日発行 NO39 連絡先: 携帯090・7250・7852
ホームページ: <http://www.jcp-ichikawa.com/tanifuji/index.html>

無料法律相談
1月17日(水)
市川市役所内、日本共産党控室にて予約制です。 334
1111(内線)4591

12月市議会一般質問

公立保育園の民営化、決定の押し付けになっっていないか!

7月に突然市から、再来年から公立保育園3園を民営化する、2007年の2月議会に提案したいと計画を知らされ、説明を続けることに保護者は納得がいきません。

私は一般質問で、保護者の切実な声に真摯に耳を傾け、決定の押し付けをしないよう、子育て支援の充実を訴えました。



保護者アンケートでは70%以上が納得していない

説明会で保護者のみなさんは、「7月にいきなり民間委託の計画を知らされ、方針は決定であるという説明は納得できない。」「子供も保護者も今の公立保育園に充分満

市職員組合主催の学習会



足している。民営化で職員総入れ替えして、保育の継続ができるのか。子供と職員の信頼関係を一から作り出していくのは大変。子どもは人間です。他の業務委託と一緒にしないで欲しい。」「民間委託すると経費が節約できるとい

が、委託しないと市川市の財政が破綻するのか。かわいい子どもたちにかける経費を無駄だといふのか。」といった声をあげています。

また保護者が行ったアンケートでは、今のまま継続して欲しいという声が90%、委託に反対が70%以上でした。

決定の押し付けは違法

私は、大多数が反対している中で結論の押し付けはやめるべきである。」「市川市は類似自治体の中で財政力指数全国一位なのに、委託をしないと財政が破綻するのか、かわい子どもたちにかけるお金が

そんなに無駄なのかと保護者に言わせるのは、誠意ある説明になっていないから

だ。」「安心して仕事と子育てが両立できる子育て支援こそ市川市として今やるべきことではないか。一方的な決定の押し付けは全国の裁判でも認められていない。この計画を見送る勇氣ある決断をするべきではないか。」と訴えました。

子育て支援は最重要課題

答弁は、今市が行っているアンケートを総合的に判断して年明けにも「庁議」にかけて決定し、保護者に説明するというもので、噛み合ったものではありません。子どもは未来を担う宝。子育て支援は21世紀の未来にかかわる重要課題です。ひきつづき、子育て世代を応援する市政実現に向け、力を入れて取り組んでいきます。

市政アンケート

寄せられた声実現にむけとりくみます

半数以上が「苦しくなった」

日本共産党市議会が行った市政アンケートに400通余りの返信をいただきました。半数以上の方が「苦しくなった。」「年金が減って税金や介護保険料が高くなった」「給料は減っているのに子どもの教育費など出費は増えて大変」と応えています。

地域要求もたくさん

塩浜橋から浦安に向かう道路に歩道を設置して欲しい。塩浜体育館近くの信号機が見づらい。歩道の段差をなくして欲しい。南行徳4丁目のU字溝にふたをして欲しい。行徳中央公園のグラウンドに明かりが欲しい。また子供用のミニプールが欲しい。行徳駅前公園の遊び場に緑や花を増やして欲しい。南行徳3丁目の中江川添公園に遊具を増やして欲しい。公園の砂場に犬の糞がある。ペットは砂場に入れないで欲しい。

溝の危険な歩道の段差 解消へ前向きな答弁

危険な歩道を調査する谷藤市議



行徳の溝に住む方から、「道路から駐車場に入り入れる急な段差でけがをした、早く改善して欲しい。」との声が寄せられ、現地調査をし、一般質問で改善を求めました。これに対し、歩道を高くし、私有地の駐車場部分を低くする方法がある。歩道の改良については検討したいとの答弁をいただきました。ひきつづき、危険な歩道改善に取り組みます。

猫実川に歩道橋設置を

塩浜団地から浦安に行く

ハイタウン塩浜と浦安の境を流れる猫実川



お年寄りや障害者が通れる歩道が欲しい

猫実排水機場から猫実川河口部にかかる塩美橋までの区間には生活道路としての歩道橋がありません。塩美橋は勾配がきつく、美浜大橋は交通量が多い湾岸道路を横断しないと利用できず、高齢者や障害者、妊婦や子供には、歩いたり自転車で渡ることは大変困難です。

お年寄りや障害者でも日常的に通れる歩道が欲しいとの要望は10年以上前から寄せられており、私の公約にかかげて取りくんだ経過があります。改めて2年前塩浜団地の皆様から橋をかけるお願いが出され、市川では

採択されました。しかし浦安市で不採択になっていないことから、もう可能性はないのかと住民の方からご指摘をいただきました。

安全対策は両市で協力を

塩浜団地から浦安側に行ける歩道橋の設置は緊急避難などの防災対策としても必要です。私は、実現に向けて市川市として浦安市に働きかけができないか、質問しました。

市川市としては浦安市との合意形成など課題があるとのことですが、今後も粘り強く訴えていきます。

公設民営化した「横浜みなと赤十字病院」を視察



党浦安市議団とヘリポートのある病院の屋上にて

横浜市は2002年4月、「官から民へ」を推進する中田市長就任以降、「市立病院のあり方検討」をすすめました。

旧市立港湾病院（300床）はちょうど施設老朽化による施設の見直しの時期にあり、「委譲による民営化」、それが困難な場合は「公設民営」（民間委託）に移行する方針を決定しました。

浦安市川市民病院も公設民営、民設民営のいずれかを検討する方向性が打ち出されていることから、当病院の視察をすることにしました。

初年度の赤字は32億

赤十字病院は、横浜市によって385億円をかけて従来の倍の病床数（一般床584、精神病床50、計634床）と最新医療設備を備え、防災拠点としての免震構

12月18日
行徳地域の駐輪場対策、歩道改修で申し入れ



申し入れは、5月に現地調査をして申し入れた駐輪場や撤去した自転車回収料金の引き下げ、党市議団のアンケートに寄せられた、塩浜橋から浦安に向かう歩道の設置、U字溝のふたかけについて、南行徳のまちづくりを考える会のみなさんと行いました。いずれも前向きな答えをいただきましたので、実現に向けてさらに取り組みを強めていきます。

造、屋上ヘリポート、船着場を設けた威容を誇る建物です。

しかし、市の思惑通りに建物ごと買い取って運営してくれる民間事業者は現れなかったとのこと。市の担当者は「320億円くらいまで値下げした

でも、買い取ってくれるところはなく、運営委託なら引き受けるところがあったので、指定管理者制度を導入した」と「民設民営」ではなく「公設民営」となったとのこと。

港湾病院に代わる「市立みなと赤十字病院」は日本赤十字社が指定管理者として昨年4月に開設。初年度の平成17年度決算では、病床利用率80%

弱、赤字は32億円にのぼります。横浜市は政策医療（救急医療、緩和ケア、アレルギー疾患医療、災害拠点病院など）に対する交付金4億5千万円だけは日本赤十字社に支払いますが、赤字は全て日赤側の責任となります。

赤字穴埋めは患者負担増と労働強化で

この32億円の赤字を埋めいくためにすでに診療単価の引き上げが行われ、指定管理業務基準が遵守されず、医療の質が懸念されます。

結局赤字のしわよせは患者負担増と病院職員の労働条件悪化、医師数などの切り下げになるのではないのでしょうか。